

第2期

運用報告書(全体版)

日系外債オープン (為替ヘッジあり)

【2020年4月15日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「日系外債オープン(為替ヘッジあり)」は、
2020年4月15日に第2期決算を迎えましたので、期中
の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し
上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2019年4月1日から2029年4月13日までです。	
運用方針	日系外債マザーファンドⅡ(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、日本の企業およびその子会社等または政府系機関・地方自治体等の発行する外貨建債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	日系外債マザーファンドⅡ	取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	日系外債マザーファンドⅡ	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年4月15日および10月15日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPY (参考指数)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額	
	(分配落)	税分	達配	み金	期騰				落
(設定日) 2019年4月1日	円 10,000		円	—	—	ポイント 171.2831	% —	% —	百万円 10
1期(2019年10月15日)	10,345		10		3.6	175.9224	2.7	95.6	611
2期(2020年4月15日)	10,092		10		△2.3	177.2444	0.8	91.3	447

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPYは当該日前営業日の指数値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPY (参考指数)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2019年10月15日	円 10,345	% —	ポイント 175.9224	% —	% 95.6	% —
10月末	10,351	0.1	175.7479	△0.1	67.5	—
11月末	10,395	0.5	176.0534	0.1	94.8	—
12月末	10,367	0.2	175.9123	△0.0	94.6	—
2020年1月末	10,502	1.5	177.9771	1.2	93.6	—
2月末	10,615	2.6	179.4149	2.0	94.3	—
3月末	9,786	△5.4	174.1055	△1.0	85.4	—
(期末) 2020年4月15日	10,102	△2.3	177.2444	0.8	91.3	—

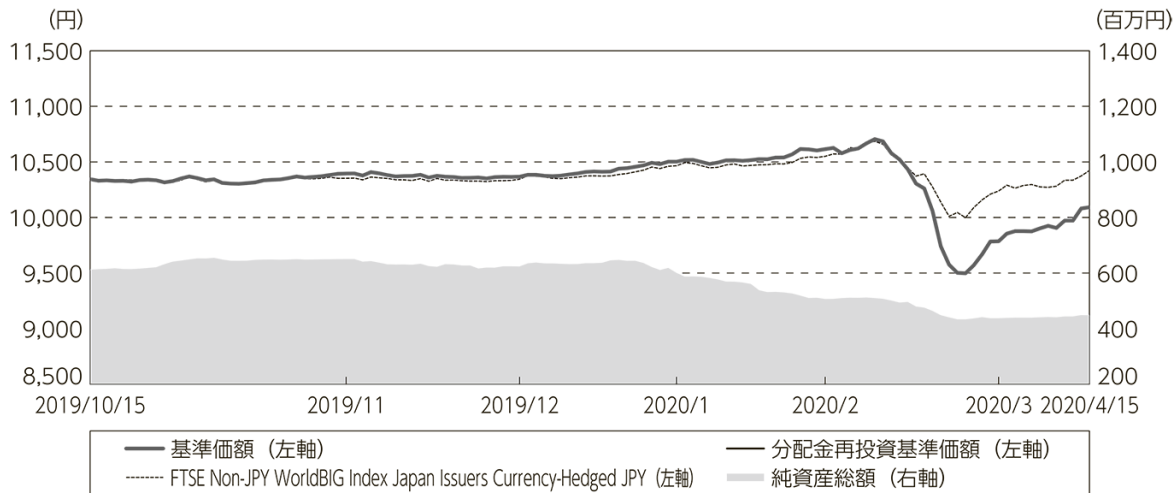
(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2019年10月16日～2020年4月15日）



期首：10,345円

期末：10,092円（既払分配金（税引前）：10円）

騰落率：△ 2.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPYです。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2019年10月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・保有債券の利回り上昇による債券価格の下落がマイナスに作用しました。
- ・米ドル、ユーロ、イギリスポンドの対円での下落がマイナスに作用しました。

※当期においては投資対象とした米ドル、ユーロ、イギリスポンドの3通貨が対円で下落しましたが、「日系外債オープン（為替ヘッジあり）」では実質組入外債建資産に対して為替ヘッジを行ったため、為替変動に伴う基準価額への影響は限定的となっています。

投資環境

（2019年10月16日～2020年4月15日）

欧米主要国の国債市場は、期を通じて全般に利回りが低下（価格が上昇）しました。期初から2019年末にかけては、米中通商交渉の進展を受けて、世界経済の底入れ観測が高まり、利回りが上昇（価格が下落）する動きとなりました。しかし、2020年に入ると中国で新型コロナウイルスの人への感染が確認され、徐々に世界中への感染拡大が明らかとなったことから、各国で人の移動が制限されるなど、世界経済に甚大な影響が及ぶ事態となりました。このため、金融市場では景気後退を急速に織り込む展開となり、利回りが大幅に低下しました。ただ、3月以降は株価の急落等を背景に投資家のリスク回避志向が極端に強まり、市場の流動性が逼迫した影響から、利回りが乱高下する場面も見られました。

一方、社債市場は、期を通じてスプレッド（社債と国債の利回り格差）が拡大し、利回りが上昇しました。期初から2020年2月中旬にかけては、投資家の利回り選好によって社債市場は概ね安定した動きを続けましたが、その後は新型コロナウイルスの感染拡大を背景に市場の流動性が急速に低下し、スプレッドが大幅に拡大しました。しかし、3月下旬以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）が社債の購入等による企業の資金繰り支援策を打ち出したことなどから、市場の需給が急速に改善し、社債はスプレッドの大幅な縮小を伴って、期中の利回り上昇幅を縮小させました。

当ファンドのポートフォリオ

（2019年10月16日～2020年4月15日）

「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入比率を概ね高位に保ちました。

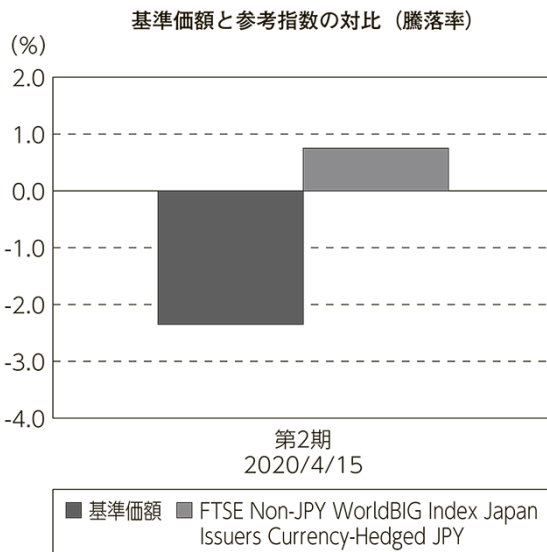
実質組入外貨建資産につきましては、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

「日系外債マザーファンドⅡ」においては、日本の企業およびその子会社等が発行する外貨建債券に投資を行い、同債券の組入比率は概ね高位を保ちました。銘柄の選定にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等での魅力が高いと判断される債券に着目しました。また、当期においては、ポートフォリオの利回り水準を高め、利息収入の確保に努めました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年10月16日～2020年4月15日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPYの騰落率を3.1%下回りました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers Currency-Hedged JPYです。

分配金

（2019年10月16日～2020年4月15日）

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり10円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第2期
	2019年10月16日～ 2020年4月15日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.099%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	271

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

欧米主要国の国債市場は、当面利回りの低位安定が継続すると予想しています。今後も各国中央銀行の踏み込んだ金融緩和策によって、利回りの上昇は抑制されると見込んでいます。ただ、株式市場が戻りを試す場面では、「質への逃避」で積み増した国債の持ち高を縮小する動きも想定されるため、利回りの低下余地は限定的と見込んでいます。

社債市場については、スプレッドの縮小が続き、底堅い展開となることを予想しています。各国当局の政策対応によって、企業の資金繰りに対する懸念は徐々に和らぐと見られ、社債市場への投資資金の流入が回復すると見込んでいます。また、低金利環境が一段と長期化する見通しの中で、投資家の利回り選好が強まると考えられることも、スプレッドの縮小を促し、社債市場のサポート要因になると見えています。

このような状況下、当ファンドの運用においては、主要な投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。また、実質組入外貨建資産につきましては、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年10月16日～2020年4月15日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	36	0.346	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(17)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(17)	(0.165)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.018	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	38	0.364	
期中の平均基準価額は、10,336円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

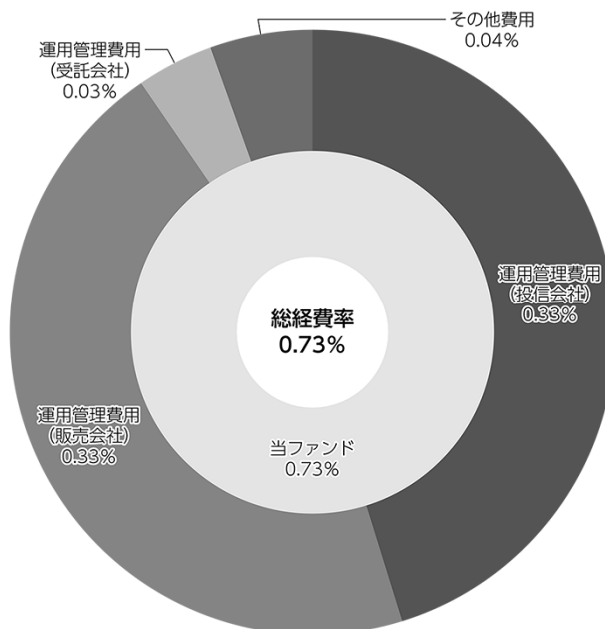
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.73%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年10月16日～2020年4月15日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
日系外債マザーファンドⅡ		千口 66,329	千円 72,600	千口 207,727	千円 229,800

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2019年10月16日～2020年4月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年4月15日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
日系外債マザーファンドⅡ		千口 549,460	千口 408,062	千円 433,158

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2020年4月15日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日系外債マザーファンドⅡ	千円 433,158	% 95.9
コール・ローン等、その他	18,713	4.1
投資信託財産総額	451,871	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）日系外債マザーファンドⅡにおいて、当期末における外貨建純資産（2,382,932千円）の投資信託財産総額（2,563,255千円）に対する比率は93.0%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝107.18円、1ユーロ＝117.73円、1イギリスポンド＝135.22円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年4月15日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	838,637,905
コール・ローン等	16,263,265
日系外債マザーファンドⅡ（評価額）	433,158,277
未収入金	389,216,363
(B) 負債	390,919,790
未払金	386,966,642
未払収益分配金	443,620
未払解約金	1,463,150
未払信託報酬	2,008,149
未払利息	6
その他未払費用	38,223
(C) 純資産総額（A－B）	447,718,115
元本	443,620,242
次期繰越損益金	4,097,873
(D) 受益権総口数	443,620,242口
1万口当たり基準価額（C／D）	10,092円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0092円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は591,273,948円、期中追加設定元本額は171,192,780円、期中一部解約元本額は318,846,486円です。

○損益の状況（2019年10月16日～2020年4月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,127
受取利息	60
支払利息	△ 2,187
(B) 有価証券売買損益	△ 9,609,430
売買益	40,745,782
売買損	△50,355,212
(C) 信託報酬等	△ 2,053,143
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△11,664,700
(E) 前期繰越損益金	1,806,064
(F) 追加信託差損益金	14,400,129
（配当等相当額）	（ 2,302,518）
（売買損益相当額）	（ 12,097,611）
(G) 計（D＋E＋F）	4,541,493
(H) 収益分配金	△ 443,620
次期繰越損益金（G＋H）	4,097,873
追加信託差損益金	14,400,129
（配当等相当額）	（ 2,750,099）
（売買損益相当額）	（ 11,650,030）
分配準備積立金	9,284,179
繰越損益金	△19,586,435

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

	決算期	第2期
(a) 配当等収益（費用控除後）		7,366,773円
(b) 有価証券等損益額（費用控除後、繰越欠損金補填後）		0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金		2,750,099円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金		2,361,026円
分配対象収益（a＋b＋c＋d）		12,477,898円
分配対象収益（1万口当たり）		281円
分配金額		443,620円
分配金額（1万口当たり）		10円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税引前）	10円
支払開始日	2020年4月21日（火）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2020年4月15日現在）

<日系外債マザーファンドⅡ>

下記は、日系外債マザーファンドⅡ全体(2,356,546千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	19,133	20,293	2,175,058	87.0	—	75.3	9.2	2.5
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
日本	1,400	1,418	166,992	6.7	—	3.9	2.7	—
イギリス	千イギリスポンド	千イギリスポンド						
	100	135	18,290	0.7	—	0.7	—	—
合 計	—	—	2,360,341	94.4	—	80.0	11.9	2.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

日系外債オープン（為替ヘッジあり）

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASAHI MUTUAL LIF 7.25	7.25	1,400	1,409	151,058	—
		BEAM SUNTORY 3.25	3.25	500	518	55,582	2023/6/15
		CENT JAPAN RAIL 4.25	4.25	800	941	100,884	2045/11/24
		DAI-ICHI LIFE 7.25	7.25	1,800	1,893	202,979	—
		FUKOKU MUTUAL 6.5	6.5	1,400	1,501	160,884	—
		MEIJI YASUDA LIF 5.2	5.2	1,500	1,612	172,853	2045/10/20
		MITSUB UFJ FIN 4.153	4.153	543	606	65,013	2039/3/7
		MITSUI SUMITOMO 7	7.0	1,800	1,905	204,204	2072/3/15
		MIZUHO FIN GROUP 4.6	4.6	600	631	67,734	2024/3/27
		MUFG BANK LTD 4.7	4.7	800	1,007	107,971	2044/3/10
		NIPPON LIFE INS 4	4.0	600	621	66,632	2047/9/19
		NIPPON LIFE INS 4.7	4.7	200	211	22,630	2046/1/20
		NIPPON LIFE INS 5	5.0	1,000	1,045	112,095	2042/10/18
		NOMURA HOLDINGS 3.103	3.103	800	790	84,755	2030/1/16
		ORIX CORP 2.65	2.65	580	580	62,229	2021/4/13
		SOFTBANK GRP COR 5.375	5.375	1,000	991	106,242	2022/7/30
		SOMPO JAPAN INS 5.325	5.325	1,410	1,497	160,454	2073/3/28
		SUMITOMO LIFE 6.5	6.5	1,400	1,526	163,556	2073/9/20
		SUMITOMO MITSUI 3.202	3.202	1,000	1,001	107,294	2029/9/17
小	計					2,175,058	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
日本	普通社債券 (含む投資法人債券)	SOFTBANK GRP COR 4	4.0	500	481	56,734	2022/7/30
		SOFTBANK GRP COR 4	4.0	100	98	11,606	2023/4/20
		SUMITOMO MITSUI 0.632	0.632	100	91	10,786	2029/10/23
		TAKEDA PHARMACEU 3	3.0	700	746	87,865	2030/11/21
小	計					166,992	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	EAST JAPAN RAIL 4.75	4.75	100	135	18,290	2031/12/8
小	計					18,290	
合	計					2,360,341	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 変動利付債の利率は、期末における利率です。

(注) 償還年月日が「—」表示の銘柄は永久債です。

日系外債マザーファンドⅡ

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

日系外債マザーファンドⅡ 第2期 運用状況のご報告 決算日：2020年1月15日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦の企業およびその子会社等（海外子会社等を含みます。）または政府系機関・地方自治体等の発行する、主に米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
(設定日)	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
2018年1月31日	10,000	—	251.9706	—	—	—	878
1期(2019年1月15日)	9,962	△ 0.4	253.2220	0.5	98.1	—	898
2期(2020年1月15日)	11,114	11.6	275.5717	8.8	95.8	—	2,247

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当該日前営業日の指数値です。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2019年 1月15日	円 9,962	% —	ポイント 253.2220	% —	% 98.1	% —
1 月 末	10,070	1.1	257.4505	1.7	98.2	—
2 月 末	10,305	3.4	262.0815	3.5	98.1	—
3 月 末	10,492	5.3	264.8490	4.6	97.5	—
4 月 末	10,590	6.3	266.6714	5.3	97.8	—
5 月 末	10,506	5.5	265.9860	5.0	96.9	—
6 月 末	10,549	5.9	265.0151	4.7	96.0	—
7 月 末	10,639	6.8	266.8004	5.4	97.3	—
8 月 末	10,700	7.4	265.9763	5.0	97.3	—
9 月 末	10,760	8.0	268.1715	5.9	97.1	—
10 月 末	10,893	9.3	270.7399	6.9	69.7	—
11 月 末	11,018	10.6	272.7586	7.7	95.2	—
12 月 末	11,037	10.8	273.8567	8.1	95.9	—
(期 末) 2020年 1月15日	11,114	11.6	275.5717	8.8	95.8	—

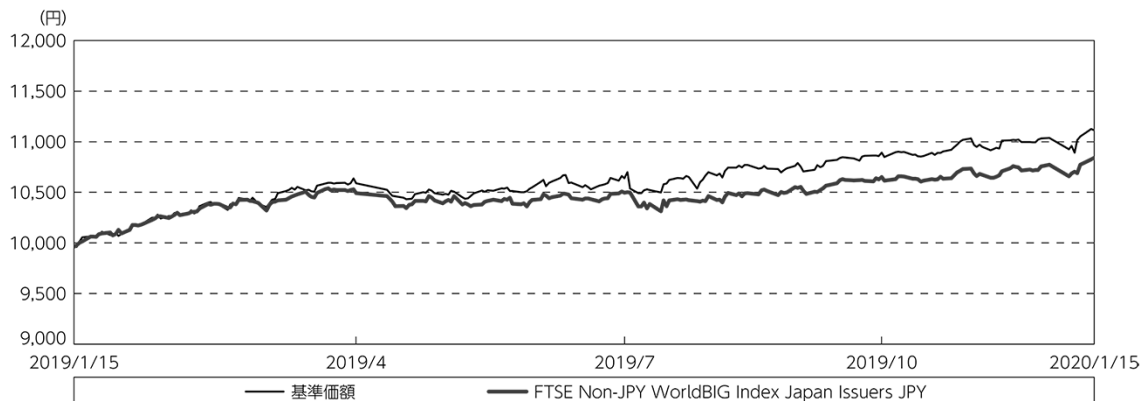
(注) 騰落率は期首比。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年1月16日～2020年1月15日)



(注) 参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYです。

(注) 参考指数は、期首(2019年1月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラスに寄与しました。
- ・保有債券の利回り低下による債券価格の上昇がプラスに寄与しました。
- ・米ドルやイギリスポンドの対円での上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロの対円での下落がマイナスに作用しました。

投資環境

(2019年1月16日～2020年1月15日)

米国や欧州の債券市場は、利回りが大幅に低下（債券価格が大幅に上昇）しました。米中貿易摩擦等を背景に世界経済の減速観測が高まったことなどから、債券を買う動きが強まりました。また、2018年に断続的な利上げを実施した米連邦準備制度理事会（FRB）が政策方針を転換し、利下げに動いたことなども、利回りの低下要因となりました。ただ、期末にかけては、米中通商協議に進展が見られ、「質への逃避」の動きが弱まったことなどから、利回りが上昇（債券価格が下落）する場面も見られました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、全般に縮小しました。米国をはじめ各国の中央銀行がハト派姿勢（金融緩和に積極的な姿勢）を強めたことから、世界的な低金利環境の長期化観測が高まり、投資家の利回り選好の動きが優勢となりました。

為替市場については、米ドルが対円で小幅に上昇しました。2019年8月にかけては、米国の長期金利低下を受けて米ドルの売り圧力が強まる展開となりましたが、その後は日米の堅調な株価動向等を背景に買いが優勢となり、期を通じては米ドルが対円で値を上げる動きとなりました。また、イギリスポンドも、8月にかけて下値を探る展開が続きましたが、その後は英国の欧州連合（EU）離脱に関して道筋がついたことから急反発し、期を通じて上昇する動きとなりました。一方、ユーロは域内の低調な景気動向などから上値が重く、期を通じて値を下げる動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年1月16日～2020年1月15日)

債券組入比率は概ね高位を維持し、利息収入の確保に努めました。ポートフォリオのデュレーションは、市場動向に応じて調整し、当期末時点では5.1年程度としました。投資する銘柄の選択にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等の魅力が高いと判断される債券に着目しました。

組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年1月16日～2020年1月15日)

当期間における当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数であるFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYの騰落率を2.8%上回る結果となりました。

今後の運用方針

米国や欧州の債券市場については、引き続き利回りが低位で推移する展開を予想しています。足元で米中通商協議に進展が見られましたが、依然両国の主張には隔たりが存在し、対立解消には相当の時間を要すると思われます。また、大統領選挙を控える米国の政治動向や、英国のEU離脱後の貿易協定締結に向けた動き次第では、再び各国の政治・経済の先行きに不透明感が強まることなども想定されます。このため、世界経済の回復の足取りは重く、FRBをはじめ各国の中央銀行が緩和的な金融政策を継続すると考えられることから、今後も債券市場への投資資金の流入が続き、利回りは低位に抑制されると見込んでいます。

スプレッドについては、全般に安定した動きとなることを予想しています。低金利環境の長期化観測から、投資家の利回り選好の動きが続くと見込んでいます。ただ、足元で堅調地合いを強める株式市場が調整局面に入れば、金融市場のボラティリティ（変動率）上昇が警戒されて、一時的にスプレッドが拡大する場面もあると見ています。

為替市場は、米ドルなどの主要通貨が対円で横這い推移となることを予想しています。日本や欧米主要国の金利水準に大きな変化が想定されないことなどから、揉み合いの展開が続くと見込んでいます。ただ、足元で堅調な株式市場に調整色が広がる場面では、主要通貨が対円で下振れすることもあって見込んでいます。

このような状況下、当ファンドの運用においては、債券組入比率を高位に維持し、利息収入を主な収益源として、安定したパフォーマンスの実現を目指す方針です。また、ポートフォリオのデュレーションは、市場動向に応じて調整する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年1月16日～2020年1月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	3	0.032	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(3)	(0.031)	
	(0)	(0.001)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	3	0.032	
期中の平均基準価額は、10,629円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年1月16日～2020年1月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	特殊債券	千米ドル	千米ドル
		社債券（投資法人債券を含む）	465	472
	ユーロ	社債券（投資法人債券を含む）	11,266	1,399
			千ユーロ	千ユーロ
イギリス	社債券（投資法人債券を含む）	1,328	311	
	特殊債券	千イギリスポンド	千イギリスポンド	
	社債券（投資法人債券を含む）	—	102	
		134	—	

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年1月16日～2020年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年1月15日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	15,963	17,475	1,921,449	85.5	—	75.8	9.7	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
日本	1,600	1,734	212,224	9.4	—	4.8	4.6	—
イギリス	千イギリスポンド	千イギリスポンド						
	100	136	19,551	0.9	—	0.9	—	—
合 計	—	—	2,153,225	95.8	—	81.5	14.3	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

日系外債マザーファンドⅡ

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ							
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASAHI MUTUAL LIF 7.25	7.25	1,100	1,179	129,734	—
		BEAM SUNTORY 3.25	3.25	500	509	55,968	2023/6/15
		CENT JAPAN RAIL 4.25	4.25	800	954	104,947	2045/11/24
		DAI-ICHI LIFE 7.25	7.25	1,160	1,241	136,469	—
		FUKOKU MUTUAL 6.5	6.5	1,400	1,560	171,554	—
		MEIJI YASUDA LIF 5.2	5.2	1,500	1,670	183,678	2045/10/20
		MITSUB UFJ FIN 3.751	3.751	200	219	24,175	2039/7/18
		MITSUB UFJ FIN 4.153	4.153	543	626	68,832	2039/3/7
		MITSUI SUMITOMO 7	7.0	1,350	1,475	162,199	2072/3/15
		MIZUHO FIN GROUP 4.6	4.6	600	641	70,587	2024/3/27
		MUGBANK LTD 4.7	4.7	800	991	109,052	2044/3/10
		NIPPON LIFE INS 4	4.0	600	630	69,283	2047/9/19
		NIPPON LIFE INS 4.7	4.7	200	217	23,914	2046/1/20
		NIPPON LIFE INS 5	5.0	600	634	69,814	2042/10/18
		SOFTBANK GRP COR 5.375	5.375	800	831	91,384	2022/7/30
		SOMPO JAPAN INS 5.325	5.325	1,410	1,505	165,529	2073/3/28
		SUMITOMO LIFE 6.5	6.5	1,400	1,562	171,833	2073/9/20
		SUMITOMO MITSUI 3.202	3.202	1,000	1,023	112,488	2029/9/17
小	計					1,921,449	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
日本	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASAHI GROUP 1.151	1.151	400	413	50,624	2025/9/19
		SOFTBANK GRP COR 4	4.0	500	532	65,167	2022/7/30
		SOFTBANK GRP COR 4	4.0	100	106	13,071	2023/4/20
		SUMITOMO MITSUI 0.934	0.934	200	205	25,137	2024/10/11
		TAKEDA PHARMACEU 3	3.0	400	475	58,224	2030/11/21
小	計					212,224	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	EAST JAPAN RAIL 4.75	4.75	100	136	19,551	2031/12/8
小	計					19,551	
合	計					2,153,225	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 変動利付債の利率は、期末における利率です。

(注) 償還年月日が「—」表示の銘柄は永久債です。

○投資信託財産の構成

(2020年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,153,225	% 95.7
コール・ローン等、その他	96,186	4.3
投資信託財産総額	2,249,411	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,187,793千円)の投資信託財産総額(2,249,411千円)に対する比率は97.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=109.95円、1ユーロ=122.37円、1イギリスポンド=143.15円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年1月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,249,411,961 円
コール・ローン等	61,618,082
公社債(評価額)	2,153,225,549
未収利息	25,987,505
前払費用	8,580,825
(B) 負債	2,000,238
未払解約金	2,000,000
未払利息	24
その他未払費用	214
(C) 純資産総額(A-B)	2,247,411,723
元本	2,022,120,832
次期繰越損益金	225,290,891
(D) 受益権総口数	2,022,120,832口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,114円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.1114円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は902,233,416円、期中追加設定元本額は1,494,272,973円、期中一部解約元本額は374,385,557円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

リスク抑制型・資産バランスファンド(愛称 いたが創業応援団)	795,277,901円
くまもと未来応援ファンド(愛称 復興投信)	631,630,125円
日系外債オープン(為替ヘッジあり)	562,054,264円
日系外債オープン(為替ヘッジなし)	33,158,542円

○損益の状況 (2019年1月16日～2020年1月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	56,912,908 円
受取利息	56,930,435
支払利息	△ 17,527
(B) 有価証券売買損益	79,313,614
売買益	84,753,214
売買損	△ 5,439,600
(C) その他費用等	△ 406,210
(D) 当期損益金(A+B+C)	135,820,312
(E) 前期繰越損益金	△ 3,422,005
(F) 追加信託差損益金	120,457,027
(G) 解約差損益金	△ 27,564,443
(H) 計(D+E+F+G)	225,290,891
次期繰越損益金(H)	225,290,891

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

該当事項はございません。